

第14回ジャパンカップ

紙飛行機部門



準優勝 & 3位入賞





CHick-SRX R パイロット:堀琴乃

2007年10月27・28日、第14回全日本紙飛行機選手権大会が、福岡県福岡市の海の中道海浜公園で開催されました。“アクティブガールズ”は、ジャンボ紙飛行機部門に、7名のパイロットと10機の機体を揃えて挑戦しました。天候にも恵まれた、当日の楽しい結果を報告致します。



CHick-SRX パイロット:佐多宏太



CHick-SRX Y パイロット:佐々木寿枝

注目は、昨年の大会で優勝した **CHick-FRXX**(パイロット:堀琴乃・吉川剛明)と、準優勝に輝いた **CHick-SRX**(パイロット:佐多宏太)です。特に、**SRX**は、このページに掲げましたように、改良機4機と合わせて、5機を揃えた果敢なチャレンジとなりました。

CHick-SRX S パイロット:吉川剛明





昨年の優勝機 CHicK-FRXX のランニングテスト



CHicK-SRX Y のランニングテスト



機体の組み立て風景



わが国のジャンボ紙飛行機の第一人者：町田憲次郎氏(72)をテーマにした大分放送のテレビ取材も行われていました。町田氏自ら私たちのチームを訪れて、情報根幹や貴重なアドバイスを頂きました。

放送は、大分放送：12/2、朝日放送 12/22、静岡放送 11/25、山梨放送 12/9 の予定です。

<http://www.minkyo.or.jp/01/2007/08/0213213.html#zenkoku>

27日(土)は風速7~8m/sの強風で、満足な機体調整が出来ませんでした。やむなく、尾翼の迎角を強風用のセッティングに変更しただけで、ランニングテストは出来ませんでした。28日(日)には、昨日の強風がうそのように納まり、風速2~3m/sの、ジャンボ紙飛行機にとって最適の天候になりました。

早速、強風用のセッティングから微風用に変更です。尾翼の迎角と機首に搭載するバラストを調整して、パイロットの足が吊りそうになる寸前までランニングテストを繰り返し、当日の最適滑空角を探りました。5機のSRXシリーズは、シングルパイロットです。FRとFRXXはダブルパイロットです。



CHicK-SRX S のランニングテスト



昨年の準優勝機 CHicK-SRX のランニングテスト



尾翼の迎角と機首のバラストを調整中の CHicK-SRX R

3位入賞 CHicK-FRXX



上昇中の
CHicK-FRX mini R

CHicK-FRXX の出発



スパイラル降下に入った CHicK-FRX mini



滑空中の CHicK-FRX B

ジャンボ紙飛行機部門は、近年に無い盛況ぶり、参加者:18名、参加機数:26機に及びました。

競技開始直後は、向風 2~3m/s の絶好のコンディションでしたが、数機のフライト後に風向きが追い風に変わりました。

厳しいコンディションの基で奮戦の結果は、**CHicK-SRX 準優勝**
CHicK-FRXX 3位入賞



ジャンボ機の待機場



CHicK-FRX mini L の滑空